

東京都フリースクール等支援事業補助金_子供の体験活動費（専門家招へい経費計算書）

※「専門家招へい経費」申請の場合は、招へいする専門家の概要や経歴が分かるものを添付してください。支援対象施設内で実施する活動で申請できる経費は「専門家招へい経費」のみです。

※「専門家招へい経費」の補助限度額は、1名につき1日当たり5,000円（交通費を含む）まで、補助対象期間が10月1日～3月31日の場合は6回、4月1日～3月31日の場合は12回が上限です。以下の色のついていないセルに、必要な数値を入力してください。

※同日に実施する体験活動で、単価の異なる専門家を複数名招へいする場合は、単価ごとに1行に記載してください。

支援対象施設名称

〇〇フリースクール

法人名ではなく、フリースクール等施設名を記入してください。

一人1日当たり補助限度額

5,000

単位：円

活動場所区分	体験活動名	活動の目的・ねらい	活動の内容	招へいする専門家名・依頼する内容等	実施予定時期	1日当たり招へいする専門家の人数 (A)	1日当たり専門家招へい経費総額 (税抜) (B)	一人当たり経費×補助率 1/2 (C) = (B ÷ A) × 1/2	1日当たり交付申請額 (D) = (Cと5000円のうちの 少ない額) × (A)	実施回数(E)	交付申請額計 (D × E)
施設外	自然遠足	本や画像で見る自然を実際に体験し、理解を深める。	高尾山でガイドとともに山歩きをし、自然観察を行う。屋外で昼食をともにし、仲間との関わりを深める。	〇〇自然ガイドに高尾山登山中の自然ガイドを依頼	10月中旬～下旬	2	35,000	8,750	10,000	1	10,000
施設外	体育館活動	定期的に体を動かし、体幹や運動能力の発達を促す。	天候により外遊びが難しい夏と冬に、インストラクターと一緒にゲーム感覚で体を動かし、運動の楽しさと仲間同士のコミュニケーションを図る。	ゲームで体を動かす運動の指導を、〇〇インストラクターに依頼	11,12月第3水曜日	2	8,000	2,000	4,000	2	8,000
施設内	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	東京花子：〇〇大学教授。子供と一緒に実施する〇〇に関する体験活動の講師・指導を依頼。	2027年1月	1	72,000	36,000	5,000	1	5,000
施設内	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	新宿太郎：〇〇大学助教授。東京花子教授が実施する、子供と一緒に実施する〇〇に関する体験活動の講師・指導の補助を依頼。	2027年1月	1	48,000	24,000	5,000	1	5,000
			同じ体験活動で単価の違う専門家を招へいする場合は、2段に分けて記入してください。						0		0
※行を追加する場合は、先頭行と最終行の間に挿入してください。								実施回数合計		5	
オレンジ色のセルの数字を、交付申請フォーム「子供の体験活動費（専門家招へい経費）」欄に入力してください。								専門家招へい経費の合計		28,000	